

意外と知らない ニッチなトリビア



トリビア好きの案内豆(?)、
トレ・ピーンズ男爵。
小粒だけど面白い
豆知識を広めています。

◆ 結婚だけじゃない!

人の一生の大切な節目で
着用されていた

白無垢

日本の結婚式の起源は、古事記や日本書紀の中の国生み・神生み神話にでてくる「イザナギとイザナミが結ばれた」という記述にあるといわれています。その記述には、どんな服装をしていたかの記述はありませんが、日本では古来より白は神聖な色とされており、儀式や祭事などでは、白色の祭服を着ていたそうです。そして、通い婚が流行した平安時代の頃には、婚礼の衣装としても純白の着物を着用していたといわれています。

室町時代になると、時の幕府の三代将軍・足利義満は、将軍家の権威を高めるために、

小笠原家、伊勢家、今川家

「意外と知らないニッチなトリビア」では読者の皆様からのトリビアを募集しております。
なお、投稿はアンケートのほうにお願いします。皆様のご応募お待ちしております。

後編 記集

「美しき書道家」と言われるのも納得の美貌、謙虚でまじめな性格の涼風花さん。依頼主のイメージを大切にするという言葉通り、年賀状企画ではたくさんの方をお手伝いしています。今年年賀状、乞うご期待です!(山下)

今回の「意外と知らないニッチなトリビア」は披露宴でのお色直しや、最近流行りの和婚に欠かすことのできない白無垢にまつわるトリビアをご紹介します。トリビアを知るって、とってもトレビアーン!!



などに礼儀や作法などを確立させ、それぞれその師範となるよう命じました。その政策の中で婚礼の作法も確立していく、結婚の儀式では白打掛、今に伝わる「白無垢」が使われるようになったのです。この白無垢、なんと江戸時代までは婚礼以外の大切な場面でも使われていたとのこと。出産や葬礼、切腹の時にも使われていたのです。

明治時代以降、西洋の文化が入り、葬礼の儀式は黒の着物を使うようになり、やっと白無垢はめでたく神前挙式で花嫁が着る婚礼衣装の代表になったのです。

結婚式で白の衣装が古くから使われたのは、「花嫁が嫁ぎ先の色に染まるように」という意味もこめられているといいます。家督や家長という文化を形成してきた日本らしい話ですが、まったく違う西洋の文化から生まれたウエディングドレスも「白」だったというのも面白いですね。それでは、次回のトリビアもお楽しみに!!オ・ルヴォワール!!

※こちらで紹介いたしましたトリビアは一例ですので、地域によって異なる場合がございます。

MY Pleasure 喜び・感謝伝える“マイプレジャー” 2013 Summer Vol.12



For Our Pleasure

書道家

涼 風花さん

ウエディングをもっと素敵に!
オシゴト拌見

ポーセラーツ&

プリザーブドフラワーインストラクター
安本由佳さん

フリーランナーの
喜ばれる結婚式3つのスパイス

TRANSIT CREW inc.
ウエディングコーディネーター

種村裕美さん

New Release

「和」

Disney Character Collection



組み合わせの可能性が無限大にあることが書道とウェディングの共通の魅力

中学時代に書道師範となり、以後創作はもちろん、製品ロゴや書道パフォーマンスなど幅広い活動で注目を浴びる若手書道家で、マイプリントの年賀状でもおなじみの涼風花さんにお話を伺いました。

その漢字が生まれた時代や文化に思いを馳せながら作品を書き上げる

私が書の道に進んだのは、小さいころにおばあちゃんに勧められて書道教室に通ったことがきっかけでした。その書道教室で素晴らしい先生に出会い、その先生の元で一所懸命に取り組んだ結果、中学二年の時には師範資格をいただくことができました。

書を書く上で大切にしていることは、漢字の意味

や成り立ちを理解した上で書くということです。意味や成り立ちを調べて、その漢字が生まれた時代や文化に思いを馳せながら書くことがとても楽しいのです。パフォーマンスや講演の時にも、漢字の由来についてお話させていただいている。皆さんにも「この漢字にはこんな由来があったんだ」と、新しい発見を楽しんでもらいたいと思っています。

マイプリントさんとも年賀状でお仕事をご一緒させていただいているのですが、私がご依頼いただいた

て書を書く時は、ご依頼いただいた方のイメージを尊重することを一番に考えています。「かっこいい」といっても、人によって「かっこいい」のイメージは様々です。依頼者のイメージにより近づけるようお話を伺いし、たくさんのお問い合わせをご用意して、そこからお選びいただくようにしています。

書を通じて喜びを伝えることが My Pleasure

ウェディングに関連するお仕事なら、おふたりの馴れ初めや思い出を表現した作品や、ゲストの方への感謝の気持ちを表現した作品を書いてみた



いですね。ウェルカムボードや招待状に書を書かせていただけではなく、披露宴でパフォーマンスをやらせていただけるなら、ゲストの方も交えて寄せ書きのようなものを作つて後でおふたりにプレゼントしたり…と夢は膨らみます。私は、ウェディングと書道には共通点がたくさんあると思っています。書道は、筆、墨、紙、硯など、どれを使うか組み合わせを変えるとまったく違う作品ができます。ウェディングも、招待状や



テーブル装飾、演出など、組み合わせを変えるだけで全く違った結婚式ができるかもしれません。可能性は無限大、そこに共通点と魅力を感じます。

私の夢は書道家として一人前といわれるようになることです。書道は30~40年続けてやっと一人前といわれる世界ですが、練習をしていると新しい発見もあり、また書くたびに自分の成長を目で見て確認できることが魅力の一つでもあります。

また、いつか時代劇が大好きなおばあちゃんのためにも、時代劇の題字を書きたいと思っています。私の書いた作品やパフォーマンスでたくさん的人に喜んでいただけること。それが私にとってのMy Pleasureです。



涼風花 (りょうふうか)

書道師範／日光観光大使

7歳の時に書道をはじめ、数々の書道展にて多くの賞を受賞。中学二年で書道師範資格を取得。その後上京して歯科衛生士として働いていたが、2010年3月より書道家としての活動を開始。新聞で紹介されるやいなや、公式ブログは3日で200万アクセスを突破。現在も漢字の成り立ちを中心に紹介するブログは月間数百万アクセスを計測中。2010年10月には、出身地である栃木県日光市より日光観光大使を委嘱される。震災後は福島県の義援金付きにごり酒「花明かり」(笛の川酒造)のラベル作成協力や数多くの東北復興支援イベントに参加。「踊る!さんま御殿」、「ぶっすま」など民放各局のバラエティ番組に出演する他、新聞・雑誌などのメディア出演も多く、マルチな才能を発揮。現在は企業イベントや自治体イベントへの出演、個展、書籍の執筆と多忙な日々を過ごしている。

公式ブログ：<http://ameblo.jp/ryo-official>

✿ ポーセラーツインストラクターとは?

ポーセラーツとは、陶器を意味する英語の“porcelain”と“art”を組み合わせた造語で、真っ白な陶磁器に転写紙というデザインされたシールのようなものを貼っていき、約800度の窯で焼いて作る、雑貨や小物、食器などのことです。私は、OL時代に教室に通って資格を取得し、ちょうど2年前に自宅でポーセラーツの教室を開きました。生徒さんにはポーセラーツのインストラクターを目指す方だけでなく、趣味で習われている方もいらっしゃいます。教室をオ



初心者の方でも、
売り物のように完成度の高い作品が作れます。

当時は余り知られていませんでしたが、最近はメディアで紹介されることも多くなり、徐々に知名度が高くなってきていると思います。

✿ 仕事をする上で大切なこと

この仕事を始めたきっかけは、結婚して、自宅を家族にとって居心地のいい、幸せいっぱいの空間にしたいと思ったことです。オシャレなものやかっこいいものは沢山売っていますが、私が理想としたのはモデルルームのような空間ではなく、もっと住む人の温かみを感じられる空間。毎日の食卓で、お料理に合わせて手作りの食器をコーディネートしたり、季節ごとにフラワー・アレンジメントを飾ったり。既製品でも素敵なものたくさんありますが、手作りは自分の「好き」を思う存分に形にでき、愛着も湧くので満足感が違います。

教室に通ってくださる生徒さんにも、自分の好きなものの、自分にとって心地よいものを形にして、日々の生活を楽しんでもらいたいと思っています。ポーセラーツやプリザーブドフラワーの技術を学んでいただくことはもちろんですが、それ以上に、教室に通っていただくことで“気持ちが前向きになった”“日常に楽しみができた”など、ポジティブな言葉を言っていただけるとすごく嬉しいです。

ウエディングを
もっと素敵に
オシゴト
拝見

ひとりひとりの「好き」をカタチにして 最高の満足感を味わつてほしい

今話題のポーセラーツやプリザーブドフラワーを通じて、日常をエアリーにするお手伝いをされているインストラクターの安本由佳さんにお話を伺いました。

✿ これから目指すもの

ポーセラーツやプリザーブドフラワーを通じて、皆さんが日々の生活を楽しんでくれることが一番の幸せです。これからも、手作りの楽しさ、豊かに暮らすアイデアを普及していきたいですね。また、今後はポーセラーツやプリザーブドフラワーにとどまらず、女性の幸せに関することにはどんどん挑戦していきたいと思っています。○○の先生、という枠にとらわれず、関わってくれた皆さんのが自分なりの幸せを見つけられるお手伝いができるといいですね。



✿ ポーセラーツ & プリザーブドフラワーインストラクターに向いている人は?

この仕事は、やりたいと思えば誰にでもできると思います。絶対にこうやらなければいけないというものではないので、ライフスタイルに合わせて自分らしい価値観で教室を作ればいいと思います。

生徒さんの中には、ご自身の結婚式用にプリザーブドフラワーでブーケを制作したり、ポーセラーツでウエディングプレートやブチギフトを作りされる方もいらっしゃいます。オリジナルのロゴが入るだけで特別感が出ますし、式の後も自宅に飾ることができて記念になりますね。最近はオリジナリティのあるウエディングが好まれているので、手作りしてみたいという方がいましたら、夢と一緒に叶えたいと思います。



安本由佳(やすもと ゆか)

Salon de Reve主宰/ポーセラーツ&プリザーブドフラワーインストラクター
2004年慶應義塾大学卒業、7年間のOL経験ののち、日本ブーケ社ポーセラーツインストラクター資格を取得し、2011年にSalon de Reveをオープン。手作りの食器やフラワー・アレンジメントで日々の生活を彩り、女性が毎日を豊かに!HAPPYに過ごすお手伝いができたから…という思いで、[夢のあるライフスタイル]を提案しています。自宅でのレッスンのほか、港区東麻布のレンタルスペースでのレッスンや出張レッスンも開催。趣味で楽しみたい方はもちろん、プロを目指す方にもアットホームなレッスンで丁寧に指導しています。ブログにて、作品のオーダーも承っております。

ブログ:Salon de Reve夢あふれる日々の暮らし-<http://ameblo.jp/yuka-yasumoto/>

3 フリープランナーの喜ばれる結婚式 3つのスパイス

ポイント 1 やりたいことのウエイトから予算配分をしていく!!

私は、おふたりからご希望は何でもやってあげたいと思っています。「何でもできますよ」といつつ、暗黙裏に「できない」方へと誘導していくようなことはしたくないと思っています。しかし、やりたいことをこだわると予算がかかるもの、予算の都合で「できない」という結論を出して欲しくないので、私はおふたりのご了承をいただき、最初にご予算をすべてお預かりしています。結婚式のどこにウエイトを置きたいかをヒアリングして予算を振り分けて、おふたりのやりたいことがきちんとできるようにしています。

ポイント 2 おもてなしのあり方は多種多様!!

新郎新婦おふたりのライフスタイルを伝えることは、ウエディングにおける大事なおもてなしだと考えています。映画好きのおふたりには、移動映画館をキャスティングして、二次会で映画を上映したこともあります。

また、ウエディングにないコンテンツを盛り込み、「あのふたりならこんな結婚式になるだろう」というゲストの予想を良い意味で裏切り、おふたりの新しい一面を見発していただくことも新鮮なおもてなしではないでしょうか。一般的には、今はサプライズ過多を回避する傾向がありますが、ゲストに新しい経験をしていただくこともおもてなしと思っていました。こうした経験はパーティ文化がまだ根付いていない日本で、その面白さや楽しさを広める機会にもなると考えています。

ポイント 3 式全体にメリハリをつける!!

やはりウエディングでは、おふたりだけでなく、ゲスト一人ひとりにも楽しんで欲しいと思っています。スピーチや余興を控えているゲストは、緊張したり、お酒が飲めなかつたりと、スピーチや余興が終わるまで十分にパーティを楽しめないということをよく聞きます。そこで私は、パーティの時間を長めにとって、前半にスピーチや余興をしてもらい、後半は全員がリラックスして楽しめるようにするなど、パーティの進行にも工夫を凝らしています。

また、会場デコレーションもおふたりらしさを自由に出せる場だと思っています。例えば、今ではよく見られるようになりましたが、当時斬新な試みとして、メイン卓のバックに樹木のアーチを配置するというコーディネートで、おふたりらしさを表現しました。会場コーディネートでは、よりゲストの方が

レストランでのプランナー時代、提案する選択肢の少なさに物足りなさを感じており、その後MC業を経て「アイデア一本でもっと幅広い提案をしたい」とプランナー業に復帰。以来オリジナリティあふれるコンテンツで「魅せて楽しめるウエディング」を提案してきたトランジットクルーの種村裕美さんに、その企画力のヒミツを伺いました。



式や2人のライフスタイルフォト、ドライフラワーをあしらったクリエイティブボード

サーフィン好きの2人のテイストに合わせキリムなどを使ったメインのデコレーション



天高6mの会場では吊り下げリース、メインは4mの流木アーチでトップには十字架を

おふたりらしさを感じるように心がけています。これからも、自分のセンスやアンテナを磨いてオリジナリティを高め、楽しくウエディング業界のイメージを、よりカッコイイものにしていきたいと思っています。



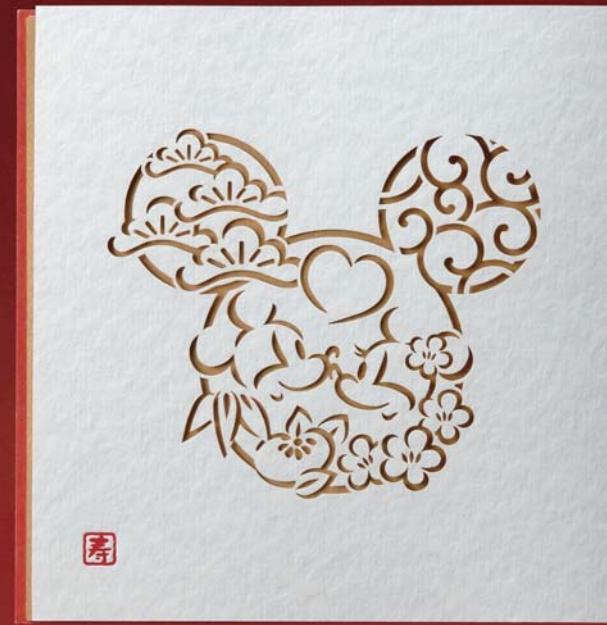
種村 裕美(たねむら ひろみ)

TRANSIT CREW inc./ウエディングコーディネーター
レストランでのウエディングプランナーを経験した後、トランジットクルーにて、ウエディング部門の立ち上げに携わる。会場にとらわれないデコレーションを得意とし、司会者としても活躍。最近は、新郎新婦おふたりのスタイルやプロフィールが伝わるフォト・ウエディングにも新たな可能性を見出し、鋭意展開中。<http://www.transit-web.com/>



和

DISNEY CHARACTER
collection



日本だからこそできる
日本でしか味わえない
ディズニーの世界
そんな贅沢なおもてなしのカタチ



和
DISNEY CHARACTER
collection

叶
かなえ
縁起の良い吉祥紋様と
ミッキーとミニーが
織りなす
巧みな美技を用いた
和の逸品



縁
えにし
古来より
大切な人の贈り物に
用いられている
「水引」を
ミッキーのかたちで
大胆にあつらえました



花衣
はなごろ
ミッキーのかたちに
華やかに彩ります
施しました
結婚式を



白梅
しらうめ
清楚な純白の地に
和服姿の
ミッキーといつこー
奥ゆかしく光る金色が
上品さを
感じさせてます



白梅
しらうめ
清楚な純白の地に
和服姿の
ミッキーといつこー
奥ゆかしく光る金色が
上品さを
感じさせてます

白梅
しらうめ
清楚な純白の地に
和服姿の
ミッキーといつこー
奥ゆかしく光る金色が
上品さを
感じさせてます

あまね

円窓から臨む
優美な庭園の情景
艶のある漆黒が
格式高い結婚式を
印象付けます